



中学生がまちの未来を語る!

～練馬子ども議会を知っていますか

問合せ 育成支援係 ☎5984-1292



練馬子ども議会とは?

中学生が子ども議員として参加し、区政への意見や提案を発表する取り組みです。議会体験を通じて、政治や社会の仕組みへの理解を深め、主体的に考える力を育みます。

区政の勉強や
テーマの調査!



テーマを決め、調査やグループワークなどを行います

子ども議員同士で
意見を交換!



実際の区議会の議場で開会宣言もします

区への
提案を発表!



グループごとに発表を行い、解決策を提案します

本番までの流れを紹介!

子どもたちの提案が実現!

これまでの子ども議員の意見や提案は、区の取り組みに反映されています。

前回の提案

避難拠点の要配慮者への支援を充実



避難拠点で妊産婦の方がひと目で分かるように目印を配布してはどうでしょうか

妊産婦などの要配慮者に対し、支援が必要だと分かるようにストラップなどの目印を用意します!



今年の参加者にインタビュー!



子ども議会に参加した理由を教えてください

自分の考えを発表するとともに、他校の人と交流したいと思い応募しました!



土方さん(大泉学園中) ▶



「こんなまちになったらいいな」と思う姿は?

毎日笑顔があふれる、にぎやかなまちになってほしいです



井口さん(関中) ▶

8/6(木)
13:30～15:00

練馬子ども議会を傍聴しませんか

ぜひ、聴きにきてね!

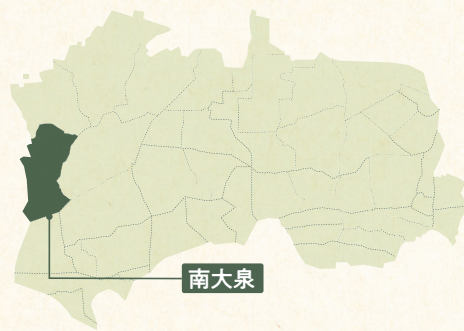
日 8月6日(木)午後1時30分～3時(受け付けは午後1時から)
場 生涯学習センター 定 300名(先着順) 申 当日会場へ
※写真・ビデオ撮影はできますが、フラッシュ撮影や操作音が出る撮影は禁止です。



ねりまの地名物語

第15話 南大泉

江戸時代、小樽村という地域の最南部に位置していました。明治22年に小樽村は橋戸村と合併、24年に近くの村の一部と合併しました。新しい村名を決めるに当たり、一番面積が大きい小樽村の1文字と白子川から泉のよう湧く水を合わせた「小泉村」が候補になりましたが、「コイズミ」「オイズミ」と読み方が分かれることから「大泉村」と名付けられました。昭和7年に大泉村内の南にあることから「南大泉町」となり、56年の住居表示で現町名になりました。



もっと知りたい方へ

ウェブサイト「練馬わがまち資料館」では、区の歴史・文化などの情報をご覧になれます。 図 情報公開担当係 ☎5984-4513



郷土史研究家で練馬区文化財保護推進員を務めた桑島新一さんが執筆した「ねりまの地名今むかし」(昭和59年6月～60年8月区報連載記事)を再構成し、地名の歴史と由来、その地域のイチ押しスポットなどを紹介します。

イチ押しスポット

大泉交通公園(南大泉6-16-1)

園内には信号機や交通標識があり、自転車やゴーカートに乗って楽しみながら交通ルールを学べます。9月6日(日)まではジャブジャブ池で水遊びもできます。ぜひ、訪れてみてください。



運転って
楽しいな!

